



1992年(平成4年)

4月12日

\*年4回発行

\*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎98-4500



# お年寄りと「福は内」

ほのぼのの会の「節分の会」

ボランティアグループ「赤坂台のぼの会」は、二月一日(土曜日)午前10時から二時過ぎまで、赤坂台自治会館に独り暮らしのお年寄りをお招きして、「節分の会」を開きました。お年寄り一名とボランティア八名で豆まきをして今年の福を祈り、和やかに会食しました。

ほのぼの会は、独り暮らしのお年寄りへの電話慰問や、特別養護老人ホーム「故郷の家」入浴介助・体操お手伝いなどの奉仕活動をしています。ふるさと祭りの収益金などの有効な使い方を話し合った結果、二カ月に一回程度の割合で、会員手作りの料理をかこんでお年寄りといろいろお話する「昼食会」(仮称)を催すことにしたのです。

「ほのぼの会」では皆さんのボランティア活動への参加をお待ちしています。

四月四日に

お花見会

暖冬のお陰で、桜の見頃が少し早くなると思いますが、ほのぼの会では「お花見会」を次の要領で行います。

◎四月四日(土)午後一時から  
◎会場は赤坂台保育園庭、雨天の場合は赤坂台自治会館に変更します。

◎すき焼きパーティです。

ボランティア

活動お誘い

「ほのぼの会」では皆さんのボランティア活動への参加をお待ちしています。

お問い合わせは、◇ほのぼの会代表・手拝康子さん ☎八二五七一九、◇ボランティア企画委員会代表・上畑浩三さん ☎九九一五四三七まで。

☎ ☎ ☎ ☎ ☎ ☎

# 子どもカーニバルは十月十八日に



福祉協議会新年交礼△△

恒例の赤坂台校区福祉協議会新年交礼会は、一月二六

日(日)午前九時半から、赤坂台自治会館で五八名出席で

開催されました。

為村収二郎会長が活動状況を報告し、本年度も引き続き

校区の関心事である青少年健全育成と高齢化対策を重点活動方針として推進していくことを表明しました。

各組織・団体からそれぞれ活動の現況や意見の発表があり、閉会後はパーティで親睦を深めました。

動の一層の拡大への協力を要請、いづれも満場一致の賛同を得ました。

そして、来る一〇月一八日(日)に第六回「子どもカーニバル」を開催することを提案、また福祉ボランティア活動の

一層の拡大への協力を要請、いづれも満場一致の賛同を得ました。

各組織・団体からそれぞれ活動の現況や意見の発表があり、閉会後はパーティで親睦を深めました。

動の一層の拡大への協力を要請、いづれも満場一致の賛同を得ました。

そして、来る一〇月一八日(日)に第六回「子どもカーニバル」を開催することを提案、また福祉ボランティア活動の

一層の拡大への協力を要請、いづれも満場一致の賛同を得ました。

## 年々末助け合い

総額二十五万九千円

昨年一二月の「年末助け合い(事務費を含む)」は、校区内

の病弱老人、障害者などへの「募金」、赤坂台校区では総額三五万九一七〇円(雲仙普

賢岳見舞い金指定四万円を含む)のご協力をいただきました。

七二六二円は堺市社会福祉協議会へ寄託しました。なお収

支明細は一月の連合自治会役員会へ報告しました。

そのうち二五万二〇〇八円

員会へ報告しました。

そのうち二五万二〇〇八円

老人福祉対策は年々充実してきましたが、まだ一般に知られていないこともあり、今号から折りに触れて紹介しましょう。

◎おむつ給付金事業  
六五歳以上の寝たきり高齢者がおむつを必要とする場合に月額一万五〇〇円以内でおむつ代が支給されます。

◎日常生活用具給付(貸与)事業  
六五歳以上の寝たきりや独り暮らし等の高齢者に日常生活用具が給付(貸与)されます。

◎特殊寝台とマットレス  
浴槽湯沸器  
エアーマット  
腰掛便器  
火災警報器  
自動消火器  
ガスもれ警報器  
老人用電話など

◎入浴サービス事業  
◎デイ・サービス事業  
寝たきりや病弱高齢者への通所や訪問サービス。

詳しくは堺市泉北福祉事務所  
☎九九一五一三一か赤坂台校区民生児童委員長佐藤さん  
☎九八一四五〇〇までお問い合わせください。

老人福祉事業案内  
民生児童委員会

器○車いす○老人用電話など  
給付分は本人または生計中心者の所得に応じて一部ないし全額自己負担、貸与分は本人または生計中心者が所得税非課税の場合。

器○車いす○老人用電話など

# 連合自治会のページ

平成三年度を終え、平成四年度を迎えるに当り

平成三年は、国外情勢では、湾岸戦争に始まり、ソ連邦の解体に終わる激動の一年でした。国内では、バブル崩壊に伴う金融・証券不祥事等、何かと話題の多い年でした。

連合自治会としましては、通算五年に渉る中辻会長の後を引き継ぎました新三役と、各单位選出の幹事の皆様方と共に、校区内住民各位の親睦と連携を図り、よりよい生活環境を作るべく努力して参りましたが、ご期待に添えなかつたことが多いのではと思つております。

平成四年度も、新幹事各位のご協力により、何分の努力

を致しますので、住民各位の一層のご協力を心よりお願い致します。

## 主催行事

ふるさと祭り

昨年同様、より多くの住民参加を図るため、住民自身の企画・参加の内容をとりいれて、八月十一・十二日の両日にわたり、第一・第二会場に分けて開催しました。

詳細、ハロー第八号でお知らせのとおりです。

このふるさと祭りの開催に当りまして、多数の住民各位

の協賛金を頂き、無事終了することが出来ましたことにつきまして、重ねて厚くお礼申しあげます。

第十七回市民オリムピック  
十月十日体育の日、台風の影響で午後からは雨の悪条件の中、選手の皆様の健闘により、例年になく好成績をあげました。

一、日赤社資募集（五月）

二、市民検診（五月）

三、胃ガン検診（八月）

四、共同募金（九月）

五、赤坂台子どもカーニバル（十月）

六、子どものための音楽会（十一月）

七、年末助け合い運動（十二月）

他地区との交流

一、泉北自治連合協議会  
親睦ソフトボール大会（九月一日）

二、光明池地区  
親睦ソフトボール大会（十一月十日）

三、第五回毎日新聞杯  
泉北綱引競技大会  
十二月八日、鴨谷体育館で開催され、赤坂台からは三丁女子チームが初参加で健闘し、八チーム中三位の成績を挙げました。

男子百発 決勝進出

女子四百発リレー 準決勝進出

\*ゲートボール 準優勝

男子 準優勝

女子 三位

\*綱引 女子 三位

協賛事業

協賛事業

協賛事業

協賛事業

協賛事業

協賛事業

協賛事業

## 地球を守ろう

赤坂台マーケット『アペテイート』では、平成二年秋より「地球を守ろう」を合い言葉にして、空きカン・牛乳パック・空きビ

ン・発泡スチロールトレイ

のリサイクルに取り組み、

（お買い物袋）ご持参のお客様にも同じように（所定の台紙にご協力

いただく度にスタンプを押して、このスタンプ五〇コ

を金券三〇〇円と交換させていただきます

月二二万円を負担

このリサイクル活動にたいする『アペテイート』の経費



# アペテイートのリサイクル活動

草玄 幸雄

負担は、スチロールの減容機

・空きカンプレス機・ビンのクラッシュャー・搬送用車両などの減価償却、電気代などの

運転費、人件費、金券の負担などで合計月額約二一万円に達します。

私どもは、この費用はここ赤坂台で商業活動を続けさせていただくについての基礎的

に必要な社会的費用、企業活動の必要経費と考え、今後も

継続して努力いたします。

チャリンにみる活動実績

その後の経過については、『アペテイート』のチャリンのインフォメーションの記事が

記録としての価値をもっていると存じますので、以下抄録いたします。

○平成三年一月二九日

「地球を守ろう」リサイクル活動ご協力よびかけ、実施内容お知らせ。

○四月一八日

空きカン売り上げ一月〇三月一万七六五〇円を校区福祉協議会に寄贈。

○七月一〇日

ご協力をいただくについてのお願ひ。

スチロール色・柄もの選別、牛乳パックの水洗い、空き

カンサイズ直径一〇センチメートル以下、ビンのチップ外して、などお願ひ。

○七月一六日

空きカン売り上げの一部を雲仙災害救援基金に寄贈します。

○七月二六日

空きカン売り上げ四月〇六月四万五三七〇円（内二万円雲仙へ）。

○一一月一三日

牛乳パック再生、紙すき実演の案内。

○一一月一九日

空きカン売り上げ七月〇九月七万八〇六〇円。

○平成四年一月二一日

一年間の活動結果報告

リサイクル量

アルミ缶 四七二六キロ

スチール缶 四九三三キロ

牛乳パック 四九〇〇キロ

（ガラスびん 毎月約一ト）

スチロール 三三〇〇キロ

赤坂台校区福祉協議会への寄贈累計一八万九四四〇円

資源の行方

ご協力いただいた貴重な資源は、アルミはスクラップ業者・昭和アルミ（堺工場）へ、スチールは処理費用『アペテイート』負担で処理業者へ、ガラス・カレットは村山ガラス（株）へ、スチロールは大阪南

港の再生業者集積所へ、牛乳パックは再製紙業者・泉北作業所へと搬送、再利用されています。（赤坂台マーケット理事長）

ブッシュ大統領が来日したとき、パーティの席上で「風邪」で倒れるショックキングな映像が流れました。大統領はしばらくしてから立ち上がり、

みんなに笑顔を見せながら、

こぶしを握った片手を挙げ、「大丈夫だ」と合図をして退席されました。二

ユース記者達は、

この大統領の行動を、選挙を控えて

病弱のイメージを

福岡社 随 欄 心

## 近隣の「地図」づくり



ず」拍手してしまったようです。そのあとの夫人のスピーチもウィットに富んだもので、和やかな雰囲気回復したことを映像が伝えていきます。

### II

ことばはどんな文脈のなかで用いられるかによって、その意味を異にします。同じこ

ざら半紙や便箋と比較させ、これがはがきというものよ」と教えたといいます。こうして教えられた子は、「はがき」というものを正確に指差せるようにはなるでしょう。しかし、はがきを理解したとは考えられません。はがきは郵便制度の中で一定の位置をもつ

ているものです。

まず郵便制度を教えて、そのうえで

はがきの働きを教

えてやるのが正しい教え方だと考えます。ひとつひとつの物事を指差せるようにするだけではなく、諸々の物事を意味あるものとして現わすことのできる背景、あるいは位置づける「地図」のようなものを学ぶことが大切なのです。

しかしわたしは、大統領の行為は、出席者みんなへの思い遣りからでた、その場の緊張をほぐす行為だったと理解しました。大統領のこの行為に対しては、出席者みんなが

「はがき」といいます。わたしたちの目に現われることも、何を背景にして見るかによって、その現われ方、現われたものの意味も異なってくるのです。

小さなこどもに「はがき」というものを教える場合に、

人の行動の意味を理解する

### III

（大阪府立大学 社会福祉学部教授）

必要なのは、この「地図」が人びとの行動を整理してくれるものと考えます。

（大阪府立大学

社会福祉学部教授）

福祉協議会構成団体紹介⑧

少年野球レッドスターズ

赤坂台レッドスターズは今年創立一八周年、現在メンバーは小学生五〇名。土・日曜に小学校グラウンドで練習、一〇数名の指導者が手分けして学年毎に指導しています。夏休みには、親も参加して和歌山県美山村でキャンプを行い、川遊び・肝だめし・焼肉パーティなどで楽しみます。

中山喜彦

泉北少年軟式野球連盟・関西団地軟式少年野球連盟・堺市スポーツ少年団に加盟、これまで全国大会出場一回、中央大会出場五回などの成果をあげてきました。



新設します

投書・Q&A欄

『ハロー』編集委員会では投書欄とQ&A(質問と回答)欄を設けて、広く地域の皆さんのご意見、ご質問をお聞きすることにしました。お気軽に投書ください。

1. 内容自由。
2. 採否は編集委員会にお任せください。文意を損わない範囲で要約することがあります。
3. 回答が必要なものは、編集委員会から関係者に回答を依頼します。ただし、この件で電話でのお問い合わせはご遠慮ください。

この欄の愛称募集! 保育園のポストへどうぞ。

◆ 編集余話 ◆

★一九八九年一二月にスタートした本紙『ハロー』が早くも一〇号、校区にすっかり根付きました。皆さんのご声援のおかげです。★『ハロー』が年四回ではまどろっこしい、年六回にせよとの声あり。片手間仕事の編集委員会では嬉しい反面、ちよっと大変な気持ちも。★高齢化社会へ向けて、厚生省も在宅福祉、地域福祉に本腰。校区福祉協議会の役割はますます大きくなります。★それにしても看護婦さん不足は深刻。思い切った待遇改善を。福祉従事者すべてについても。そのため増税ならやむなしか? ★このほど逝去の四丁住民(匿名ご希望)のご遺族から、神林四丁自治会長を通して校区福祉協議会に御芳志を頂戴、有り難うございます。(M)